



R 6. 5. 22 (火)

交通安全教室を終えて…

5月15日(水)5校時に、体育館で交通安全教室が行われました。

法的には**自転車＝車両**。交通法規的には、基本的に自転車は自動車と同じもの、という意識が大切です。生徒は今回の交通安全教室から多くの学びを得ました。生徒のふりかえりを紹介します。

自転車はとても便利な乗り物だけど、1つ間違えると危険な乗り物になってしまうことを知りました。自転車の左側通行は知っていたけど、たまに右側を通行してしまっているので気をつけたいです。信号が青の時でも、どこから車が来るか分からないから、しっかり左右確認して、車がゆずってくれたら礼をするか、ありがとうございますと挨拶をしようと思いました。自転車に乗るときはヘルメットをかぶって、危険なことはしないように気をつけます。
(1組生徒)

動画を見て思ったことは、自分でも気づかないところに危険はひそんでいることです。自分も左側を走ったりなどは全く気にもしていなかったし、トラックが曲がるときにあんなことになるとは思いませんでした。自分がいくら交通ルールを守っていても危険な目にあってしまうと気づいたから、これからは気をつけて運転したいです。
(1組生徒)

自転車で起こる事故はたくさんあり、多数は自転車側の人が何かのルールを守らないで事故を起こすケースがあったので、この動画を見て、自分の身は自分で守り、しっかりと交通ルールを守って自転車で走行したいなと思いました。自転車は移動が楽でとても便利だけど、使い方やルールを守らないと事故などを起こす凶器になることがあるんだと分かったので、これからは気をつけていきたいです。
(2組生徒)

自転車は必ず左の車道側を走り、「止まれサイン」や、見づらい車などが多く通るところは、確認して通ることが大切と分かりました。そして周りをよく確認し、二人乗りや傘さし運転をしている人を見かけたら教えてあげ、歩行者がいる場合は、自転車を押しながら歩いたり、止まったり、よけて通行したりしようと改めて思いました。しっかりと点灯するか、ブレーキなどが故障していないかなど点検をして、事故を起こさず安全に乗っていききたいです。
(2組生徒)

自転車ではいろいろな交通ルールがあり、それを一つでも守らなければ事故につながるということが分かりました。またヘルメットなども着用して、自分自身も守っていききたいです。死角のある場所や内輪差など、いろいろな危険があることが分かりました。歩行者がいる歩道を走行する際には、周りをよく確認して事故を起こさないように注意したいです。自分がルールを守らなかったことで周りの人がケガなどをしたら絶対にいけないので、交通ルールを守っていききたいです。
(3組生徒)

自分はよく自転車で出かけたりするので、今日の動画を見て気をつけていきたいことがたくさんありました。何をやったら事故につながるのかなどを思ったときに、ヘルメットをつけないことや、傘さし、手放し、ヘッドホン装着、などがあったので、動画を見てよく分かりました。これから自転車に乗るときは、しっかりと決まったルールを守ることを心がけて、気をつけながら乗りたいなと思いました。(3組生徒)

ぼくは交通安全の動画を見て、改めて自転車の怖さを知りました。事故を起こさないために安全運転を心がけて、相手のことをよく考えることが必要なんだと分かりました。ぼくも片手運転や左側通行、歩道でのスピードなどを意識してなかったので、これからは気をつけていこうと思います。交通安全の動画を見て、いろいろなことに気づくことができました。(4組生徒)

(～前略) 自分ひとりルールをしっかり守っていても、誰かが守らず破っていたら、絶対に安全とは言い切れず、「みんなが守る」というのは難しいことかもしれないなと思いました。ちゃんとルールを守って、誰ひとり嫌な思いをすることも、させることもないように、今まで以上に気をつけていこうと思いました。また、もっと道路などの標識の意味を知っておくべきだと思いました。(4組生徒)

今後の予定

《6月》

8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)

県選手権岩国支部予選

17日(月) 期末テスト発表(部活停止～26日)

18日(火) 眼科検診

24日(月) 学期末テスト1日目(国・数・音)

25日(火) 学期末テスト2日目(社・英・保体)

26日(水) 学期末テスト3日目(理・技家・美)

《7月》

5日(金) 生徒総会

16日(火)、17日(水)、18日(木)

個人懇談会

19日(金) 終業式



世界中の人の心も
そろそろでしょう。
黙って揃えてあげよう。
誰かが乱れない。
履くときに
履くときにおくと
脱ぐときに
履物も揃うと
心もそろろうと
履物を揃えると

この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦(ふじもとこうほう)さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。

いつかはきものをそろえるという文化が日本に根付いたのかわかりませんが、永平寺の開祖である道元禅師は日々の修行の中に「はきものをそろえる」という行為を組み込んでいたそうです。

はきものをそろえることは、「自分自身をみつめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたのでしょう。つまり、「はきものが散らかっている」と心が乱れている。そろえていれば心が落ち着いている。」ということです。

入学当初に比べると、1年生の下足箱の靴はきれいに揃ってきました。

下足箱に靴を納めるときに両手で揃えて入れます。そのちょっとした、1～2秒の積み重ねが心の落ち着きに、学年の落ち着きに、そして麻里布中学校の落ち着きに通じると信じています。